



けんこう がつこう
健康だより 12月号

令和5年11月30日発行
かんのん町保育園

11月の感染症情報

流行性角結膜炎	21名
咽頭結膜熱	4名
アデノウイルス	5名
溶連菌感染症	5名
インフルエンザA型	9名

今年は感染症で体調を崩す子ども達が多くいました。園でもこまめな手洗い・うがいを呼びかけ、風邪予防をしています。ご家庭でもお子さんの体調管理に引き続き十分にご配慮をお願いします。

アデノウイルスと診断されたときは・・・

流行性角結膜炎(はやり目)や咽頭結膜熱(プール熱)が流行しています。どちらも原因となるウイルスはアデノウイルスです。どちらも登園許可証が必要な感染症になります。受診の際に、『アデノウイルス』と診断された場合には、登園許可証が必要である『流行性角結膜炎(はやり目)』や『咽頭結膜熱(プール熱)』ではないか、医師に確認をお願いします。

流行性角結膜炎



アデノウイルスの感染で起こる、結膜炎の中でも一番典型的な病気です。潜伏期間が約2週間と長く、目の充血、多くの目やに、涙に加え、リンパ節の腫れや痛みなどを伴います。感染力が強いので、発症したら医師の指示に従い、許可を得てから登園しましょう。症状は発病してから1週間くらいがピークですが、完治には2～3週間かかります。感染力も強いので、タオル、ティッシュペーパー、洗面器など、顔に触れる物の家族間での共有は控えましょう。

結膜炎



- 白目の表面にある薄い膜とまぶたの裏のピンク色の膜を結膜と呼びます。この部分が炎症を起こすと、充血して目やにや涙が出たり、まぶたが腫れ、裏側にゴロゴロとした異物感を感ずるようになります。夏に向けて流行し、タオルの貸し借りなどで感染することがあります。手を清潔に保ち、目を手でこすらないようにし、物の共有をやめるのも予防になります。完治までに3週間程かかるので、早めに医療機関を受診しましょう。

園内でできたケガの傷についての対応

傷を早く治すためのポイントは、「保湿」をすることです。乾燥すると傷の治りが遅くなります。ワセリンは保湿効果が期待できるため、園で起きた傷については必要に応じてワセリン塗布を行い、絆創膏で保護して対応させていただきます。塗布することに不安がある方がいましたら職員に声をかけてください。

【季節の変わり目も元気に過ごそう! ~三者連携~】

「風邪の予防」について幼児に伝えました。看護師と保育士からはエプロンシアターや寸劇で早寝早起きをし、朝ごはんを食べることで元気に保育園で遊べる事、そして肌着を着て体を冷やさないようにすることを伝えました。

また、栄養士からは寒い季節に備え、体を温めてくれる野菜をクイズ形式で教えてもらいました。クイズでは「これはえのき」「しめじだ!」と、きのこの名前を言い当てていました。

最後に、手を正しく洗わないとどうなるか、今回は保育士の手を魔法の水(イソジン)につけてみると…なんと手が真っ黒に! 不思議そうに見つめたり、思わず「うわ!」とびっくりしてしまう子ども達。『手洗いの歌』に合わせて、順番に洗っていくととてもきれいになりました。「すごい!」「きれい!」と汚れが落ちる姿を見て、目を輝かせていました。

